

口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境整備事業

(継続)

背景・課題

平成24年度予算案:2千7百万円(3千万円)

- 口蹄疫の国内発生、鳥インフルエンザなど人獣共通感染症への対応、BSEを契機とした食の安全への関心の高まりなどを背景に、現場の最前線で家畜診療や防疫に従事する産業動物獣医師や公務員獣医師に対する社会的ニーズが高まっている。
- 殊に、近年、産業動物獣医師等を志願する学生が減少傾向にあるが、背景の一つとして、大学における産業動物に関する臨床実習の機会や教育内容が不十分であり、学生にその魅力や意義を十分伝えきれていないことが指摘されている。また、平成22年6月に農林水産省は、臨床実習において学生が一定の範囲で診療行為を実施できるよう規定の整備を行っており、これに対応した臨床実習の充実が急務となっている。

対応・要求内容

【概要】

- 学生の臨床実習等の機会の拡大と日本の獣医学教育の水準の向上のため、獣医系大学と高度外部専門機関との連携による、全国の獣医系大学の教育改善に資する実習システムを構築する。
- 具体的には、産業動物分野、家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野(以下、感染症等対策分野)のそれぞれにおいて、基幹校及び協力校が中心となり、高度な外部専門機関と協力して、学生の実習受け入れ先の確保、実習の手引きの作成などのプログラム開発など、全国の獣医系大学の学生が利用できる実習システムを構築する。
(連携先)
 - ・産業動物分野;農業共済組合、JRA、家畜改良センター、都道府県畜産研究所等を想定
 - ・感染症対策分野;国立感染症研究所、動物衛生研究所、動物検疫所、厚労省検疫所等
- これにより、高度かつ実践的な産業動物分野における臨床実習や感染症等対策分野における実習の機会が十分に確保され、全ての獣医系大学の学生が臨床実習等に参加することが可能となる。

【要求内容】

- 支援する経費の例
 - ①獣医系大学と外部専門機関の連携を図り、全国的な実習システムの構築を推進するコーディネーターを基幹校に配置
 - ②外部専門機関との連携による効果的な臨床実習等の在り方や教育内容等を検討する運営委員会を設置(基幹校・協力大学・外部専門機関のメンバーが参画)
 - ③高度な実習プログラムの開発(実習の手引き、実習先一覧等の作成を含む)
- 予算規模 2分野×1350万円=2700万円(平成23年度～3年間を予定)

- 【採択校】(分野1) 産業動物診療分野における全国的臨床実習システムの構築
代表校:岐阜大学(協力校:酪農学園大学、北里大学、鹿児島大学)
- (分野2) 感染症等対策分野における全国的実習システムの構築
代表校:東京大学(協力校:岩手大学、東京農工大学、宮崎大学)
- ※ いずれの取組も、全国大学獣医学関係者代表者協議会と連携の上、実施する。

政策目標

- 国民の健康・生活の安心の確保、家畜防疫体制の強化など、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成を強化。

口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境整備事業（取組内容）

全国獣医学関係大学代表者協議会：参加型実習運営委員会（全体を統括）

産業動物分野（公衆衛生分野を共有）

代表校：岐阜大学

連携校：酪農学園大学、北里大学、鹿児島大学

・産業動物臨床実習について、高度外部専門機関と連携し、実習手引きを含む実習プログラムの開発及び高度臨床実習の開発（基礎から実践応用までの総合的プログラムの開発）。既に実施されている「産業動物の就業研修（臨床実習・行政体験研修）」（中央畜産会）及び「夏季臨床実習」（農業共済組合等）との調整を行い、より有効な教育プログラムを開発。

【連携機関】

・農業共済組合、日本中央競馬会、中央畜産会、都道府県家畜保健衛生所、畜産試験場 など

感染症分野（公衆衛生分野を共有）

代表校：東京大学

連携校：岩手大学（動物医学食品安全教育研究センター）、農工大（国際家畜感染症防疫研究教育センター）、宮崎大学（家畜生産高度専門技術者育成統合教育プログラム）

【取組内容】（主な取組）

・家畜感染症、人獣共通感染症、食品衛生等の分野について高度外部専門機関と連携し、実習の手引きを含む実習プログラムを開発。

【連携機関】

・日本中央競馬会、国立感染症研究所、動物衛生研究所、国際獣疫事務局(OIE)、動物検疫所 など

実習以外にも、獣医倫理・動物福祉学、疫学、馬臨床学、動物行動学など、各大学で手薄な講義科目のプログラムを作成・仲介する（出張講義を含む）。講義ビデオを作成し、獣医系eラーニングシステム（北大が実施）に配信する。

ホームページで全獣医学生に周知し受講希望者を募集：<http://plaza.umin.ac.jp/~vetedu/practice/index.html>

学生からのレポート、実施機関からの評価を収集 → 各大学に通知し単位認定 / 学生ならびに実習機関からの要望事項 → 事業へフィードバック

